

読み  
仮名  
あり  
↓  
↓

【第2章】人間と文学を語る

3. 夏目漱石と近代日本 (p. 54)			
6	鋭く	するどく	①人の心や感覚に強く突きささるような勢いがある。②(刃物などが)とがっている。
6	捉える	とら-える	①本質・意義・特徴などを理解し把握する。②映像・音などをはっきり確認する。
9	諸国	しょこく	多くの国。さまざまな国。
9	* 摂取	せつしゅ	①外部から取り入れて自分のものにする。②栄養物などを体内に取り入れること。
11	学究	がっきゅう	学問上の探究をすること。また、その人。
12	* 序	じょ	①書物や詩文の初めに書き添える文。②物事の始まり。初めの部分。③物事の順序。物事の秩序。
14	幼少期	ようしょうき	幼い子供の時期。
14	味わい	あじ-わい	①優れたうまみ。おもむき。(ここでは「良さ」)②飲食物が舌に与える感じ。風味。
16	経る	へ-る	①ある過程・段階などを通る。経過する。②時がたつ。年月が過ぎる。
18	* 違和感	いわかん	周りのものとの関係がちぐはぐで、しっくりしないこと。
20	陥る	おちい-る	①落ちて中に入る。②望ましくない状態になる。③策略にひっかかる。
20	* 立脚点	りつきやくてん	考えたり行動したりするときの立場。よりどころとする地点。
20	* 辿り着く	たどりつく	尋ね求めながら、やっと目的地に行き着く。また、苦勞の末にやっと行き着く。
23	* 契機	けいき	きっかけ。動機。
24	* 投影	とうえい	①ある物の存在や影響が、他の物の上に現れ出ること。②心理学で、考え方や行動に心の内面が表現されること。③物の影をある物の上に映すこと。また、映った影。
25	自我	じが	①哲学で、知覚・思考・意志・行為などの自己同一的な主体として、他者や外界から区別して意識される自分。 ②心理学で、行動や意識の主体。自我意識。
26	* 眼差し	まなざし	視点。目つき。目の表情。視線。
28	様相	ようそう	物事のありさまや様子。
28	呈す	ていす	①ある状態を表す。示す。②差し出す。また、贈る。
30	赴任	ふにん	任地におもむくこと。
30	上役	うわやく	職場で自分より地位が上の人。上司。
31	教頭	きょうとう	小学校・中学校・高等学校の役職の一つ。校長を補佐し、校務を処理する。
31	あげく		色々やってみた結果。結局のところ。(※普通、良くない結果になる場合に用いる。)
31	* 制裁	せいさい	法律や規則、慣習などの社会的規範に背いた者に対して加えられる罰。また、そうした懲罰を加えること。
32	一本気(な)	いっぽんぎ(な)	純粋で、物事をいわずに思い込む性質であること(さま)。
33	* 辞さない	じ-さない	①恐れない。ひるまない。②(するべきことを困難があっても)しようとする(やめようとしぬ)
36	くつがえす		①ひっくり返す。裏返す。②それまで正しいものとされてきた考え方や決定を根本から変える。
38	* 厭わない	いと-わない	嫌に思わない。
39	遂行	すいこう	任務や仕事をやりとげること。
41	賛美	さんび	褒めたたえること。
43	依然	いぜん	前と変わらないさま。元の通りであるさま。
44	* 凌ぐ	しの-ぐ	①能力・程度などが他のものを追い抜いて上に出る。②困難や苦境などにじっと堪えて、なんとか切り抜ける。辛抱して乗り越える。
44	* 醒める	さ-める	①冷静になる。心をとらえていた迷いがなくなる。②眠っている状態から、意識のはっきりした状態に戻る。③眠けや酒の酔いが消える。
47	下敷き	したじ-き	①創作・制作などの基礎となるもの。②筆記・習字などをするとき、その紙の下に敷くもの。③物の下に敷かれること。
49	* 後日譚	ごじつたん	事件など落着いた後、それからどうなったかという話。後日談。